

財務報告

2012年度の決算（決算期変更に伴い2012年4-8月の5ヶ月）は、新日本有限責任監査法人様とのアドバイザー契約のもと、NPO会計基準に則り確定しました。そのハイライト版を公開しています。

貸借対照表 2012年8月31日現在

活動計算書 2012年4月1日～12年8月31日

科目・摘要	金額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金及び預金	44,051,074	
売掛金	3,187,190	
貯蔵品	96,151	
立替金	24,830	
前払費用	1,174,060	
未収入金	1,652,183	
流動資産合計		50,185,478
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
建物	5,240,891	
建物附属設備	1,747,079	
車両運搬具	7,207,843	
土地	2,400,000	
建設仮勘定	1,360,000	
有形固定資産計		17,955,813
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア	2,320,322	
無形固定資産計		2,320,322
(3) 投資その他の資産		
NPOカタリバ東北復興支援基金用預金特定資産	103,931,806	
長期前払費用	79,880	
敷金	1,544,000	
投資その他の資産計		105,555,686
固定資産合計		125,831,821
資産の部合計		176,017,299
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金	2,890,358	
未払金	13,503,467	
預り金	1,948,350	
未払法人税等	88,900	
未払消費税等	692,200	
流動負債合計		19,123,275
負債の部合計		19,123,275
III 正味財産の部		
1 指定正味財産		
NPOカタリバ東北復興支援基金	85,270,144	
指定正味財産合計		85,270,144
2 一般正味財産		
前期繰越正味財産	51,120,126	
当期正味財産増加額	20,503,734	
一般正味財産		71,623,880
正味財産の部合計		156,894,024
負債の部及び正味財産の部合計		176,017,299

科目	金額 (単位:円)	
一般正味財産増減 9 部		
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	1,070,000	
賛助会員受取会費	1,233,000	2,303,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	21,239,693	
指定正味財産の部より受取寄付金振替額	48,923,474	70,163,167
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	2,426,000	
指定正味財産の部より受取助成金振替額	1,793,250	4,219,250
4. 事業収益		
人づくりを通じた社会活性化に関する事業収益	174,790	
キャリア学習イベント等活動の企画・実施事業収益	25,748,590	
普及啓発事業収益	1,358,627	27,282,007
5. その他収益		
受取利息	16,194	
雑収入	3,476,694	3,492,888
経常収益計		107,460,312
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費	43,170,930	
(2) その他経費	35,086,245	
事業費合計		78,257,175
2. 管理費		
(1) 人件費	2,349,410	
(2) その他経費	6,261,073	
管理費合計		8,610,483
経常費用計		86,867,658
当期経常増加額		20,592,654
III 法人税等		
当期一般正味財産増加額		88,900
前期繰越一般正味財産額		20,503,734
前期繰越指定正味財産額		51,120,126
次期繰越一般正味財産		71,623,880
指定正味財産増減 9 部		
I 受取寄付金		
27,522,935		
II 受取助成金		
受取民間助成金	5,793,250	
III 一般正味財産への振替額		
△ 50,716,724		
当期指定正味財産増加額		△ 17,400,539
前期繰越指定正味財産額		102,670,683
次期繰越指定正味財産		85,270,144
次期繰越正味財産		156,894,024

東北復興事業への寄付金の活用方針につきまして — 2012年6月に公表したニュースリリースより抜粋 —

2011年度、東北復興事業の開始による寄付収入の増加などに伴い、総収入は316百万円（10年度66百万円）と増加しました。一方、スタッフの雇用や送迎バス代などコラボ・スクールの運営費も加わった結果、経常費用も172百万円（10年度61百万円）と増加しました。コラボ・スクールは、当初の計画を延長して数年間継続的に運営する予定ですが（※詳しくはp20参照）、継続的な事業展開を前提にした財務計画では、現状では2013年度には運営資金が不足する試算となっております。また、2011年度には多数の法人・個人からご寄付をいただきましたが、東日本大震災から時間が経過するとともに、金額も減少することを想定しております。そこで、2011年度に東北復興事業への使用を目的としていただいた寄付金・助成金234百万円のうち、131百万円を「一般正味財産」に振替えて11年度の支出に充て、残りの102百万円を「指定正味財産」として、12年度以降に繰越して使用いたします。この指定正味財産が公正に管理され、東北復興事業に適正に活用されるため、NPOカタリバ内に「NPOカタリバ東北復興支援基金」を設立いたしました。基金は、NPOカタリバが行う他の特定非営利活動資金と区分するとともに、基金の被災地支援活動費への取崩しについては、毎期首に事業計画を検討し、理事会の決定をもって行うなど、基金の公正な活用に注力してまいります。NPOカタリバは、2011年度にいただいた寄付金を、公正かつ長期的に運用しながら、被災地に根を下ろした継続的な支援活動を行ってまいります。また、コラボ・スクールの数年間の継続的運営を前提に、想定される資金不足に対処するため、引き続きファンドレイジングに注力するとともに、行政予算や事業収入などさまざまな関係者との協働による運営資金の調達にも、チャレンジいたします。これらにより活動の持続可能性を担保したうえで、「東北から、10年後のイノベーションを輩出する」を目指して教育活動を行ってまいります。